

高校新卒者が大半を占める6期生は、実習を始めて三か月経ちましたが元気に実習に励んでいます。高校生が多いため、ハローワークの新卒担当者による社会人マナー講習や自動車の安全運転ワークショップを開催するなど、学生に合わせた授業も取り入れています。まだ造林作業がメインですが、昨年の倍以上の面積をこなし頼もしい限りです。これから本格的に暑くなり、実習も大変な時期になりますが、この調子のまま頑張っしてほしいと思っております。

6月には、恒例の大山登山を行いました。登山道の保全活動のため、合計100kg近い土砂を背負って登山道の補修をしながら登っています。この長年の地域貢献活動が認められ、第七十八回大山夏山開き祭において、大山の山頂を保護する会から林業アカデミーに感謝状を頂きました。これからも大山の保全活動を続けていきます。

林業アカデミーには、大人から子ども

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

【問合せ】にちなん中国山地林業アカデミー TEL 84-0070



もまで多様な人が林業体験や林業の現状を学びに来られます。高校生から企業の方、行政関係者まで来校者の目的に合わせた説明をしています。特に都市部から来られる大人の方々の林業体験の反応は、日南町の子どもと変わらず初めて体験する林業作業に、しんどいながらも面白さを見出し皆さん笑顔になっています。

林業アカデミーの様子は、SNSを通じて頻繁に更新していきますので、是非ご覧ください。

目野高ニュース



3年次生授業「コミュニケーションチャレンジ」

5月20日(月)

ろう 鳥取聾学校の先生による出前講座

鳥取聾学校ひまわり分校の先生に来て頂き、聴覚障がいについて、手話言語条例について、日常生活のことなど様々なことについてお話して頂きました。生徒からのたくさんの質問にも答えて頂きました。

生徒からの感想には、「街中で聴覚障がいの方と出会ったら、手話や筆談でコミュニケーションをとりたい」、「災害発生時には防災無線がきこえないので、一緒に逃げる」、「テレビや映画などの字幕があたりまえに表示されたらいいと思った」などあり、様々考える機会となりました。次回から本格的に手話の学習も始まります。みんなで手話を使ってコミュニケーションができるように頑張っていきたいと思います。

